

全 員 協 議 会 記 録

令 和 8 年 3 月 2 5 日

【開催日】 令和8年3月25日（水）

【開催場所】 議場

【開会・散会時間】 午前9時～午前9時30分

【出席議員】

議長	高松秀樹	副議長	大井淳一朗
議員	穂本真一	議員	伊場勇
議員	大年恒夫	議員	奥良秀
議員	北永千賀	議員	白井健一郎
議員	武野裕司	議員	恒松恵子
議員	中岡英二	議員	中島好人
議員	中村博行	議員	濱本健吾
議員	福田勝政	議員	藤岡修美
議員	藤谷圭子	議員	前田浩司
議員	宮本政志	議員	矢田松夫
議員	山田伸幸	議員	脇本直美

【欠席議員】 なし

【事務局出席者】

局長	石田隆	議事係長	岡田靖仁
----	-----	------	------

【付議事項】

- 1 議運決定事項について
- 2 謝罪文の朗読について

午前9時 開会

高松秀樹議長 おはようございます。全員協議会を始めます。本日の付議事項
1点目、議運決定事項について、議会運営委員長の報告を求めます。

(伊場勇議会運営委員長 登壇)

伊場勇議会運営委員長 皆さん、おはようございます。第16回議運決定事項について報告いたします。決定事項1、令和8年第1回（3月）定例会に関する事項について。（1）執行部から議案1件を追加提出したい旨の申出があり、議事日程に追加することといたしました。次に（2）追加議案については、次のとおりです。御確認ください。（3）議事日程の変更については次のとおりといたしました。御確認いただきたいと思います。次に決定事項2、6月定例会の日程案について、資料をつけておりますので御確認ください。以上で報告を終わります。

（伊場勇議会運営委員長 降壇）

高松秀樹議長 ただいまの報告に対しまして質問はございますか。（「なし」と呼ぶ者あり）付議事項2点目、謝罪文の朗読について、白井議員に発言を求めます。

（白井健一郎議員 登壇）

白井健一郎議員 議長の許可を得て、謝罪文を朗読いたします。謝罪。令和8年3月25日、山陽小野田市議会議員、白井健一郎。山陽小野田市民の皆様、市長や市の職員の皆様、そして今議場におられる議長をはじめとする同僚議員の皆様や議会事務局の皆様、本日は私自身の謝罪のために、皆様の時間を費やしていただくことになり、誠に申し訳ありません。さきの3月13日金曜日、私の所属する一般会計予算決算委員会で、午前と午後に質疑がなされた日ですが、その昼休み、私はあることに腹を立て、会派室で壁を足で強く蹴り、縦30センチメートル、横10センチメートルほどの穴を空けてしまいました。これは刑事罰にも当たり得る許されざる行為です。このことについて、市民の皆様、市長や職員の皆様、議長や議員、議会事務局の皆様に、心より謝罪いたします。本当に申し訳ありませんでした。市役所庁舎内にとどまらず、この社会はルールを守ることで、市民一人一人の自由と権利が守られています。壁を蹴

って損壊させるという暴力行為は決して許されるものではありません。今後このような行為を決して繰り返さないと皆様にここでお誓いするとともに、自らを強く戒め、議会人として恥ずかしくないように、自己研さんに励んでまいります。なお、この責任を取って、被害弁償はもちろんのこと、所属会派の代表を辞任するとともに、議会運営委員会の委員も辞任させていただきました。本当に申し訳ありませんでした。

(白井健一郎議員 降壇)

高松秀樹議長 白井議員の謝罪について、質疑がある方はおられますか。

宮本政志議員 何点かあるので一つずつお聞きします。先ほど「あることに腹を立て」とおっしゃいましたが、具体的にどういうことに腹が立ったんですか。

白井健一郎議員 私は、この謝罪文を作成するに当たり、いろんなことを考えました。そして、このような表現が妥当だろうということで使ったのですが、少し具体的に言いますと、事務局の一部の職員と私の間のトラブルです。

宮本政志議員 事務局とのトラブルとおっしゃいましたけど、そうすると事務局にも何か責任があるように受け止められるんですが、その辺りというのは正確なんですか。事実なんですか。言質は取られているんですか。

白井健一郎議員 それを明確に確定するのは、あるいは議会で、あるいは市役所内で、あるいは捜査機関において決められることであって、私が事実を確定することではありませんが、私の認識としてはそうであります。

宮本政志議員 今の答弁から行くと、事務局に腹が立って、事務局に何かしらの責任があったような責任転嫁のように受け止められるんですが、そう

いったことはないというふうにまず受け止めましょう。２点目、先ほど市の職員という謝罪の対象者が含まれておりましたが、あのようなことがあった場合、特に事務局のほうですよ。議会事務局の職員を市の職員と一緒に表現するというのは、私は不適切だったと思います。特に、議会事務局の職員についてはどのように重い責任を感じておられますか。

白井健一郎議員 私は謝罪文の１行目で市長や市職員の皆様におわびし、２行目で議会事務局の皆様におわびしております。

宮本政志議員 だから、議会事務局の職員について、特に謝罪の意向というのはどのようにお考えですか。

白井健一郎議員 私が先ほど申したように、どんなことがあっても、およそ決まっているルール、例えば法律とか何々規範とかというものは破ってはいけません。これで社会が成り立っているわけで、そのことを破った私に対しては、私自身の行為に対して強く反省しているとともに、それによって御迷惑をおかけした方に対しても、謝罪の意を持っております。

宮本政志議員 壁を蹴ったんでしょう。その壁を蹴って相手の穴に関して私も確認しましたが、事務局側のほうの壁と同じような壁ですよ。相当な音と振動があったと思いますよ。しかも急に。事務局の中には女性も数人いるんですよ。なら今後、ああいったことがトラウマになるとか精神的に恐ろしいとかそういったことというのは考えてないんですか。謝罪文の中に僕はそれが含まれると思ってた。謝罪文というのは本当に心を込めてつくられた謝罪文でしょう。だから、事務局職員に対しては特になのかと僕は聞いているんですよ。

白井健一郎議員 先ほど申し上げたように、事務局の職員に対しても別におわびをしております。そのことについてはそういう意味も含まれておりま

す。

宮本政志議員 ぜひ、事務局の職員が白井議員の起こした事象に関してどのような受け止めがあるかっていうのは、神経をとがらせて対応していただきたい。それともう一つ、責任の取り方、弁償は当たり前ですよ。市民の財産を破ったんですから、弁償は当たり前。それから、会派の代表交代と議会運営委員会の委員の交代。白井議員、この程度のことで本当に今回の件に関して責任を取ったと自覚しておられますか。

白井健一郎議員 まず申し上げたいのは、これは議会の、あるいは市役所の、あるいは捜査機関の処分ではないということです。私はそういう処分の前に自発的に申し上げたところです。まず、被害弁償は当然のことです。次に、本議会の、言ってみれば役職といいますか、ポストの返納に関しては、私自身の力のなさもあってこの二つしかありませんでした。会派代表と議会運営委員会の委員というこの二つしかありませんから、二つとも返上いたしました。そして、ここに謝罪文の朗読ですね。あと、ほかにはもちろん、議長、事務局長には二度ほど正式におわびいたしました。市長、副市長の下にも行ったところ、市長は「反省の色が見えるからよろしいでしょう」ということ、副市長は「原状回復ができるならいいでしょう」ということでした。そういうふうにおわびを申し上げております。

宮本政志議員 そうすると、白井議員の会派の方にお聞きしたい。武野議員、濱本議員は、今回の件に関して、同じ会派の議員としてどのように責任等を考えておられるか、私はこの場でお聞きしたい。

白井健一郎議員 近代の法律の原則というのは個人責任主義です。連帯主義というのは、本当に古い考え方だと思っています。ですから、会派の他の人間には責任は何らないと思っていますし、ここで聞くのも不当だと思っています。

宮本政志議員 白井議員、あなたに聞いていない。濱本議員と武野議員にお聞きしている。それに関して武野議員と濱本議員がどのようなお答えをするかを聞きたいだけであって、白井議員、あなたが制止する権利はない。濱本議員、武野議員、再度お聞きいたします。同じ会派の議員として責任等を含めてどのようにお考えですか。

高松秀樹議長 お二人、もし発言することがあれば挙手をしてください。（「なければいい」と呼ぶ者あり）

濱本健吾議員 今回は、会派の白井議員がこのような迷惑をかけてしまい、申し訳ございませんでした。私自身も、会派羅針盤全体としても、信用が地に落ちたと思っています。そこを一生懸命、信頼回復できるよう努めてまいります。

高松秀樹議長 武野議員はよろしいですか。（うなづく者あり）ほかに質疑はありますか。

奥良秀議員 白井議員のほうから、暴力行為について自己を律するというところで、代表を交代されるというお話が出てきたんですが、会派羅針盤の代表はどなたになられるんですか。

白井健一郎議員 代表の入替えの書類を提出したのが昨日だったと思いますけれども、濱本議員にお任せしました。

奥良秀議員 改選が行われて、羅針盤は代表が今回で2回目の交代になります。なぜこのような交代劇が起きているのか、説明をしていただきたいと思っています。

白井健一郎議員 それは会派内部の人事の問題です。

奥良秀議員 私どもも会派を組んでいますが、会派の代表というのはとても重責を担っていると思います。そのようにころころ変わるのは、幾ら会派の中の内部事情と言われても、やはり会派代表の会議等々をする中では、それなりに責任を持った方がきちんと話されるはずなので、そういうふうに変わるのはおかしいと思うんですがいかがでしょうか。

白井健一郎議員 現在、会派代表の話合いというのは、ほぼ開かれてないと認識しております。

奥良秀議員 そのように論点のすり替えをされるならもう結構です。その次です。「自発的に」と言われて、時系列が3月13日の金曜日のお昼に、あることが原因で蹴られたということですが、その後謝罪をどのように進められたのか、時系列を説明してください。

白井健一郎議員 13日当日の午後、議長と議会事務局に一度目の謝罪をいたしました。翌週の16日月曜日に高松議長、事務局長に二度目の謝罪をいたしました。その後17日ですが、直接市長室に行って市長と副市長におわびをいたしましたということです。

奥良秀議員 二つほど言われたんですが、13日、事が起きてから議長にはすぐに連絡されたんでしょうか。

白井健一郎議員 13日の昼休みに事故が起こり、その後の午後、たしか2時前後だったと思いますけれども、その頃に報告しております。

奥良秀議員 昼休み1時間だと、13時からもう次の分科会もしくは委員会が始まっていると思うんですが、なぜ1時間も間が開いたんでしょうか。

白井健一郎議員 特に理由はありません。

奥良秀議員 続きまして、市長、副市長に対しての謝罪は、かなり間が空いてるんですが、どのような理由でしょうか。

白井健一郎議員 13日金曜日が事件の日であって、翌週16日月曜日に再び高松議長と事務局長の下に行ったところ、事務局長のほうから、この市の庁舎で何か事件があったときの責任というのは市長にあるから、市長にも話を上げているところであり、謝罪に行ったほうがよいのではないかとというアドバイスがあったので、その日中にアポイントメントを取っていただくようお願いをし、翌日17日の午前中に行ったところですよ。

奥良秀議員 事務局からアポイントメントを取られた旨を言われたんですが、自発的に自分が悪い、自分を律するためであるのであれば、自分が市長室に行って頭を下げる行為をするのが自分を律するだと思ってるんですが、そうではないんでしょうか。

白井健一郎議員 いえ、市長室に行って5分でも10分でも時間を取っていただくには、アポイントメントが必要ではないかと思っています。しかも、それを16日に事務局長から言われて自分で「そうだな」と思ったので、そのときに「アポイントメントをお願いします」と言いました。そして、17日の午前中、たしか9時半の約束だったと思うんですけども、朝、市長がもう働いていらっしゃって、私が「9時半前に行きましようか」と言ったところ、まだ要件が終わってないのでちょっと待ってくれということで少しお待ちいたしまして、10分後ぐらい、9時半過ぎに行ったところですよ。

奥良秀議員 先ほど自分を律すると言われたんですが、私としたら、本当に律されているのかなっていうところをもう憤りしか感じません。同僚議員と言われましたけど、同じ同僚議員と見られるのも嫌です。本当に恥ずかしい事案を起こされました。暴力行為を起こされて自分を律すると言

われましたが、代表を辞められて、その次、議会運営委員会の委員も辞められて、それで本当に律されるんですか。ほかに何かされないんですか。いかがですか。

白井健一郎議員 何か教えていただければありがたいと思っています。

奥良秀議員 教えてくださいではなくて、律するという言葉は自分で考えて自分で事を起こすことだと私の中では考えていますが、人に教えてもらってということであれば、もう私は何も言うことがありませんので、これで私の質問を終わります。

伊場勇議員 今回の事件は、自分の会派室の壁を蹴って穴を空けたということなんですけども、会派室の使用について自粛する考えがありますか。

白井健一郎議員 その理由がありませんので、そのつもりはありません。

伊場勇議員 理由というものはそれぞれ考えるものだと思うんですけど、その理由もないということで受け止めました。次に、先ほど答弁の中で、副市長にも謝罪を行かれた中で、副市長が「いいでしょう」とおっしゃったと。「いいでしょう」というのはいろいろな取り方があるんですけども、どういった話の中での「いいでしょう」なんですか。「もういいですよ」というふうに軽く受け止められる。重たい事案なのでその辺はちゃんと説明をするべきだと思いますが、いかがでしょうか。

白井健一郎議員 副市長は「原状回復をすればいいでしょう」というお返事でした。

伊場勇議員 原状回復することは当たり前のことなので、それは必要だということのいいでしょうなのか。もう一つやっぱりその事件の重さについての謝罪についてはいかがでしたか。

白井健一郎議員 市長室での話をもう少し詳しく言いますと、私が17日の9時半過ぎに市長室に行ったところ、市長が立ち上がって、扉から少し入ったところでお待ちになりました。そして副市長も入ってまいりました。そして私が事件の経緯を説明して、「市の庁舎の管理者である市長にも大変御迷惑をおかけしました。謝罪を申し上げます」と言ったところ、市長は「反省の色が見えるから、謝罪の意思が見えるからいいだろう」という話でした。続いて、副市長は「原状回復がなされるならいいでしょう」という話でした。それしか伺っておりません。

伊場勇議員 次に、市民への謝罪については、この場が初めてであり最後であるという認識でよろしいでしょうか。

白井健一郎議員 そうですね。市民に対しての謝罪はこの場が初めてです。そして、この一連の13日の事件があった日から今日までの間、先ほどから申し上げた方々に謝罪をしてまいりました。あるいは被害弁償、そして所属会派の代表の辞任、そして議会運営委員会の委員の辞任ということをしてまいりました。これは、一つは一応こういうふうに、要はもちろん私は自主的にやっていることですが、議会内でのしかるべき方にアドバイスを頂きながらしております。

伊場勇議員 もっと早い段階で市民に対しての謝罪をするような考えや取組等はなかったということですか。

白井健一郎議員 全員協議会は動画で放映されますし、市民に対して一番分かりやすい方法だということで、直近の今日になりました。

伊場勇議員 例えば、もっと早く全員協議会を開いていただきたいだとか、そういったところの取組をされたのかという質問です。いかがですか。

白井健一郎議員　もちろん今振り返れば、そういう努力も可能だったかもしれませんが、日程的に見ますと16日、17日に議長、市長に謝罪をして、その後、私としては謝罪文を朗読したいと言ったところ、謝罪文を見せてくれと言われてまして、水曜日、木曜日とかかかってつくり上げた。これが19日です。そして、それに手を入れてもらって、私も謝罪を書くのが初めてですから、きっちり手を入れてもらった後、その翌週の水曜日の朝、今日の全員協議会で謝罪という形に至りました。

伊場勇議員　きっちり手を入れられたということで、白井議員の本心なのかということちょっと疑ってしまうんですけども、そこについて少し詳しくお聞きしてもいいですか。

白井健一郎議員　きっちりと申し上げたのは、謝罪の意思をきっちりとということではありません。朗読した謝罪文というのは、私がほぼ骨子、それから肉付けも私がしたものです。ただし、およそ社会的に謝罪をするに当たってどういう表現が適当だとか、あるいは私にも分からない、例えば市長にだけおわびしたらいいのかとか、市の職員までにもおわびすべきなのかとかといったようなことをアドバイスしていただいたということがあります。

宮本政志議員　奥議員とか伊場議員とかの質問は非常に重要で、特に今の伊場議員の質問に関連するんだけど、そもそもあなたが蹴って穴を空けたこの建物は、誰の財産ですか。

白井健一郎議員　市です。

宮本政志議員　市じゃなくて市民ね。市民の財産ですよ。そうすると、何よりも先に市民に謝罪すべき。あなたは自分の主義主張や考え方をXやSNS等でよく発信してますよね。なぜそういったことを活用して、真っ先に市民の皆さんに、市民の皆さんの財産である建物に傷をつけたという

謝罪をしなかったんですか。

白井健一郎議員 一定の謝罪をするには、私なりに事実関係をきっちりまとめ直して、それに対して誰にどのような謝罪をするのかを考えた後で、きっちり公式の場で発表するのが適当だと思ったから、SNSで一、二分、あるいは数分ちょこちょこっとしゃべるだけでは非常に不完全であると感じておりました。

宮本政志議員 であるならば、明日本定例会最終日ですが、なぜもっと早くこういった場を設けてもらえるような行動を取っていないんですか。幾らでもこういう場を設けてもらって、1日でも早く市民に対してこういう公開の場で謝罪するという行動が取れたはずでしょう。それについてはどうですか。

白井健一郎議員 先ほど申し上げたように、19日に謝罪文の提出、先週の木曜日ですが、水曜日あるいは木曜日に提出しまして、きっちりと表に出せる形で手を入れてもらって、そして今週となっているわけです。今日じゃなくて昨日すべきだったのかというのは、現実的にちょっとどうなのかなど。私はこの全員協議会の場を借りて、しかも全員協議会ということちゃんと動画放映が入る場においてきっちり説明をすることにおいて、山陽小野田市民の皆様に対しては、一応私からは心を込めた謝罪になったと思っております。

宮本政志議員 先ほど奥議員が言ったことと同じなんですけど、私も創政会の代表として何か謝罪の本気度っていうのかな。全く私には伝わってないし、心に刺さる謝罪であったなと感じられないという個人の感想を付け加えて、質問を終わります。

高松秀樹議長 ほかに、質問はございませんか。（「なし」と呼ぶ者あり）よろしいですか。ここで私から一言申し上げます。本市議会の議会基本条

例の前文には、「議員は市民の代表者であることを自覚し、崇高な政治倫理の下、お互いに研さんに努め、市民の負託に応えなければなりません」とございます。議会基本条例は、そもそも私たちがつくり上げ、私たちが制定した市議会の最も尊重すべき規範であります。市民の模範となるべき議員は、法令遵守はもちろんのこと、高い倫理感を持って議員活動、議会活動に取り組んでいただきたいと考えております。以上で全員協議会を終わります。

午前 9 時 3 0 分 散会
